

DAWN 通信

★特集

東日本大震災被災地支援事業
どーんといこう 東北！

—いわて・みやぎ・ふくしま— ②

■ メディアと女性 ①

■ 講座・イベントのご案内 ③

■ ピックアップ ⑤

■ 賛助会のご案内／賛助会員ご紹介 ⑥

第14号

2012. 8

一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団は「男女が対等な立場で、あらゆる分野に参加・参画できる社会づくり」の視点から、多様な価値を受容し、一人ひとりが持てる力を最大限に発揮できる真に豊かな社会の実現に貢献します。

メディアと女性

今から31年前、私がNHKに入局した頃、女性のメディア進出は著しく少なかった。

大正14年、東京中央放送局で38歳の女性アナ、翠川秋子がキャリアをスタートした。その後、テレビの時代になっても女性の仕事は女性向け番組に限定された時代が続く。

初めて男性の牙城「7時のニュース」のキャスターとして村田幸子アナが登場したのが昭和51年。およそ半世紀が流れていた。

しかしこの起用に対して当時の世論は厳しく「受信料を払わない」という抗議の電話が殺到したという。

が、それからまた30年余りが過ぎ、時代は変わった。放送現場は今や、「石を投げれば女性」の時代に変貌した。看板番組を仕切る女性アナウンサーは当たり前。私の入局の翌年、初めて女性記者が採用されたが、今や新卒記者の半数近くが女性。番組制作を担当するディレクターも新卒採用では半数が女性。

そして彼女たちはてきぱき結婚し、堂々と子供を産み、しっかり産休も育休も取り、きっちり復帰してまたバリバリ働いている。

気負いも無ければ、遠慮もない。良い時代だ。

女性の活躍の場面は確実に増えている。

しかし不況となると、「育児休職を取る女性は早く辞めろ」と言わんばかりの空気がいまだに企業社会の中に蠢くと聞く。そんな企業の上司たちに見てほしい。子育て中の女性は管理者から見れば確かに配慮する部分が多く大変だが、この時期を乗り切った女性は、世の男性より、遥かに遅く柔軟性に富んだ人材に成長している。メディアの世界では、すでに男女の枠組みを軽々と越え、第一線で働くロールモデルが次々と生まれている。

ただ、忘れてはいけない。先人が切り開いた茨の道を、今我々は易々と通っていることを。そしてこの道を広げ続けるのが我々のミッションである事を。後輩たちが治道に見事な桜並木を育てるであろう時代を迎える為に。

どーんといこう 東北！！ーいわて・みやぎ・ふくしまー

東北物産展と上映会の開催について

当財団は平成23年度から、内閣府「東日本大震災被災地における女性の悩み・暴力相談事業」を受託し、当財団職員が、東北3県を訪問する機会が増えました。事業実施を通して地域の自治体や女性団体等とネットワーク・交流をする中、大阪のドーンセンターから応援できるイベントを企画しました。東北の女性たちがつくった農産物、加工品、手仕事品などの販売を行います。また、物産展の開催に併せて、東北3県の女性たちの声を紹介するドキュメンタリー映画の上映会も行います。

販売予定品：ジャム、ジュース、ペーグルパン、米、巾着袋、アクセサリなど

日時 2012 9/15・16 (土) (日)
10:00 ~ 17:00

場所 ドーンセンター
(大阪府立男女共同参画・青少年センター)
1階 ロビー他

- ◆協力：岩手県、盛岡市、もりおか女性センター、NPO法人参画プランニングいわて、宮城県、気仙沼市、福島県男女共生センター、女性の自立を応援する会（福島・郡山）、大阪府、東大阪市 ほか
- ◆後援：NHK大阪放送局、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞社 ほか

併催

DAWN CINEMA CLUB

第46回ドーン・シネマクラブ
ドーン・シネマクラブは、女性監督の作品や普段上映される機会の少ない作品の上映会です。

2012 9/16 (日) 上映 13:30-15:00
監督トーク 15:15 ~

「3月11日より前に戻りたいでしょう？
でも戻れないから。
もう前を向いて生きるしかないの」

311:
ここに生きる
-In The Moment-



毎日を懸命に生きていく女性たち。震災から4ヶ月が過ぎた2011年7月、気仙沼から始まり、南三陸、石巻、福島、郡山、相馬、遠野、釜石、陸前高田、仙台そして東京で出会った女性たちは、「こうして私は生きている」とその姿をカメラの前にさらけ出してくれた。

日本の復興のために今、自分に何ができるのかと問いながら生きている彼女たちの姿は、被災者、非被災者という枠組みを超えて、人としての生き方を私たちに問いかける。

<2011年/日本/90分/監督：我謝京子> 第24回東京国際女性映画祭上映作品

「女たちはいかにして
大震災から立ち直るのか？
どのくらい時間がかかるのか？」

女性の視点でドキュメンタリー映画を企画製作している我謝京子監督は、2011年5月に東北3県での取材を開始。女たちの復興への思いを聞きまわった。震災後の女性たちの声を映像の記録として残している。

◆チケット

前売り 1,000円、当日 1,300円※当財団個人賛助会員は前売り価格

◆申込み・予約

事務局（事業担当）06-6910-8615



第33回 『はなみずき基金』事業

「すべての女性が自分の人生を主体的に選択し、納得の人生を実現できる社会をつくるための志援金としてご活用いただきたい」との趣旨で府内在住の女性から当財団に贈与された寄附金を基に設置した基金事業です。



監督 - 我謝京子 (がしゃきょうこ)

1963年東京生まれ。テレビ東京報道記者として活躍。経済番組や自然出産、少子長命社会のドキュメンタリーの製作、ペルー大使公邸人質事件や阪神淡路大震災の復興取材なども体験する。2001年に母子単身赴任で渡米し、ロイター社のテレビレポーター & プロデューサーとして活躍。

2005年から映画監督として、ドキュメンタリー映画「母の道、娘の選択」を制作。ニューヨークで生きる道を選んだ日本女性の生き方を克明におさめ、第22回東京国際女性映画祭の上映作品に選ばれ、2010年ニューヨーク国際インディペンデント映画祭観客賞、最優秀文化ドキュメンタリー賞をダブル受賞。2011年より世界各国での配給が決定。

<賛助会費充当事業> 被災女性のためのサポートグループ

「～東北地方から関西へ来られたみなさんへ～故郷のこと、話しませんか」を実施して

昨年9月にスタートしたこのグループも、今年8月で15回目を迎えた。初めは4名だった参加者も、今では毎回10名を超え、2時間では時間が足りないような状態が続いている。時間の経過とともに、参加者も変化している。被災直後から避難をされていた方が、昨年末には帰郷を決意された。最近では、放射性物質から逃れて、関東から自主避難して来られた方も多い。当然だが、ひとりひとりその背景や思いは違う。ただ、どの参加者も、それぞれに大きな不安と迷いを抱えて参加されている。「あなたは間違っていないよ。それでいいんだよ」とお互いを支えあえる場のひとつになっているからこそ、「次もまた又参加します」と言ってもらえるのだろう。まとめ役として、ボランティアで参加して下さっているカウンセラーの力が大きいことは、言うまでもない。先の見えない避難生活の中、このグループの存在が少しでもお役に立てているのなら、嬉しい限りだ。

講座・イベントのご案内

① 仕事・キャリア

先着

はなみずきキャリア塾 メンタルヘルス編Ⅱ



このプログラムでは、働く女性がさまざまなシーンで直面する課題を心理学の視点による講義とワークショップを通して、セルフケアの方法を学びます。

2012年5月～2013年3月 全10回 各回13:30～16:30
(8月を除く毎月第2土曜日に開催予定)

●7～9月<心の病に強くなる>

7/14 働く女性がかかりやすい心の病と対策
9/8 もしかして、あなたも“燃え尽き”症候群かも

●場 所：ドーンセンター 大会議室 ほか

●講 師：7/14 松井 律子
(精神科医 まつい心療クリニック医院長)

9/8 安田香珠子

(「こころの相談室Woman」心理カウンセラー)

●対 象：女性 各回50名(定員に達し次第締め切り)

●受講料：各日2,000円 ※当財団個人賛助会員は10%割引

② 仕事・キャリア

先着

はなみずきキャリア塾 メンター編



女性が生涯にわたってキャリアを創造する時にある、さまざまな壁。職場での孤独、キャリア継続への不安や悩み等、同じ課題を持つ女性たちが集まり、メンター(指導者・理解者・支援者)である先輩女性の助言をもとに、それぞれの、課題解決をめざします。

一足先に道を切り拓いてきたメンターが、ロールモデルとして自身の体験を提示したり、参加者からの質問にじっくり答えたりできるよう、少人数のゆったりとした雰囲気の中で進めていきます。各テーマ、3回ずつの講座です。

A ー公的施設・公務職場で元気に働き続けるためにー

【7/28、8/11、9/1】14:00～16:00

メンター：尼川 洋子(人と情報を結ぶWEプロデュース代表)

B ー復職・再就職を考へ中。

これからの自分のキャリアを悩んでいる女性のためにー

【9/11、9/19、9/26】14:00～16:00

メンター：上田 理恵子(㈱マザーネット代表取締役社長)

C ーマネジメント力をつけて生き抜くためにー

【10月、11月、12月開催予定】

メンター：熊 和子(㈱毎日放送ラジオ局エグゼクティブ)

●場 所：ドーンセンター 中会議室1(4F)

●対 象：女性 各回15名

●参加費：A・B・C(各全3回) 5,000円
各回1回のみ受講 2,000円

①～⑩の講座・イベントに関するお問い合わせは

☎ 06-6910-8615

(一財)大阪府男女共同参画推進財団 事業担当 まで

③ 仕事・キャリア

無料 抽選

母子家庭のお母さんなどを対象とした職業訓練 パソコン実務習得科(2か月)

“仕事に就きたい!”と考えている母子家庭のお母さんなどを対象に、パソコンの実習としごと準備講座を組み合わせた職業訓練を開催します。

●日 時：2012年9月4日(火)～11月7日(水)

●場 所：ドーンセンター

●対 象：訓練修了後、すぐに就職したいと考える母子家庭のお母さん等

●定 員：20名(最小催行人数11名)

●受講料：無料(ただし、テキスト代3,000円)

●申込方法：住所を管轄するハローワークでご相談の上、お申込みください。

●一時保育：あり 1歳～就学前(保育料無料、定員15名)

●お問合わせ：府民お問合わせセンター「ピピッとライン」

☎#8001または06-6910-8001

商工労働部雇用推進室人材育成課委託訓練グループ

☎06-6210-9531

※11月、1月にも同コースを開催する予定です。

④ 海外交流

先着

スタディーツアー<韓国編> 地域に学ぶエンパワメントと参加 木浦(モッポ)&ソウルへの旅 4泊5日

昨年に引き続き、身も心もエンパワメントする旅の企画をお届けします。

木浦では、DV被害者支援を含めた女性の人権向上にとりくむNGOなどを訪問・交流。ソウルでは、聖公会大学院「実践女性学コース」を訪れ、ワークショップに参加します。

●日 時：2012年8月29日(水)～9月2日(日)

●旅行代金：お1人あたり 113,000円+燃油サーチャージ、空港税等約1万円

●お問合わせ・お申し込み

(株)トラベルギャラリー ☎06-6456-4888

●主 催：(株)トラベルギャラリー

●現地企画協力：(一財)アジア・太平洋人権情報センター(ヒューライツ大阪)
(一財)大阪府男女共同参画推進財団

●後 援：大阪府立大学女性学研究センター

⑤ 仕事・キャリア

先着

はなみずき塾



女性が働き続けること、楽しく働くきっかけをつかむセミナーです。1部は関西で働く女性のキャリアトークとディスカッション。2部は五感を使って生活を楽しむプログラムです。

2012年10月～2013年3月 全6回

毎月第4土曜日 13:30～16:30

●10/27(1部)元気に働く「自分らしく働き続ける」

先は長い。長期的な視点を持って働き続け、「働く」ことをつないでいくために、20代からの心の持ちようを知る。

(2部)生活を楽しむ

専門家によるレクチャーやワークショップ。

●場 所：ドーンセンター 視聴覚スタジオ ほか

●対 象：女性 各回40名(定員に達し次第締め切り)

●受講料：各日2,000円 ※当財団個人賛助会員は10%割引

⑥ 女性のためのサポート

無料 先着

～東北地方から関西へ来られた女性のみなさんへ～
故郷のこと、話しませんか

東北地方で被災し関西へ来られた女性のためのサポート・グループを開催します。お茶を飲みながらゆっくりと話しませんか。

- 日 時：2012年4月～9月（第1土曜日に開催）
10：00～12：00 5月のみ第2土曜日開催
- 場 所：ドーンセンター 中会議室ほか
- ファシリテーター：ドーンセンターカウンセラーほか
- 対 象：東北地方から関西に避難されてきた女性 各12名
- 参加費：無料（交通費は財団負担）
- 一時保育：1歳～就学前（無料）
- 申込方法：（一財）大阪府男女共同参画推進財団
相談事務局 ☎06-6910-8588

⑦ 不妊に悩む女性のためのサポート

無料

サポート・グループへのお誘い

同じ立場の人どうし、自分の気持ちを語り合い、経験や痛みをわかちあい…ともに支え合うためのグループです。

- ①「不妊のこと、話し合ってみませんか」
【土曜日 10：00～12：00】 8/19、11/24、2/23
- ②「治療のやめどきのこと、話し合ってみませんか」
【土曜日 10：00～12：00】 9/15、12/15、3/23
- ③「子どものいない人生のこと、話し合ってみませんか」
【土曜日 10：00～12：00】 7/28、10/27、1/19
- ④「二人目以降の不妊のこと、話し合ってみませんか」
【木曜日 10：30～12：00】 7/5、8/2、9/6、10/4、11/1
- 場 所：ドーンセンター 和室（4F）
- ファシリテーター：金 美江（助産師）、矢野恵子（助産師）
内田和枝（助産師）、田中佳織（助産師）
- 対 象：テーマが自分の問題とを感じる女性 15名（先着順）
- 参加費：無料
- お申込・お問合わせ：
（一財）大阪府男女共同参画推進財団
不妊専門相談センター事務局 ☎06-6910-8588

⑧ 相談・カウンセリングに関わる人材育成事業

先着

女性相談担当者のための
グループ・スーパービジョン

- 日 時：2012年9月19日（水）・10月3日（水）、10日（水）
- 場 所：ドーンセンター小会議室2、5
- 講 師：竹之下 雅代
- 対 象：女性相談に関わる行政職員、関係機関及び関係施設の職員・スタッフ
- 定 員：6名
- 受講料：15,000円
- お申込・お問合わせ：
（一財）大阪府男女共同参画推進財団
不妊専門相談センター事務局 ☎06-6910-8588

⑨ 援助者支援

2012
フェミニストカウンセリング専門講座

フェミニストカウンセリング全般に対する理解を深め、女性のおかれている状況やそこからくる心理的問題について考えます。

【理論コース】

- 日 時：10/27（土）、11/3（土）、11/24（土）、11/25（日）
10：30～13：00、14：00～16：30
4日間・全8回
- 場 所：ドーンセンター 大会議室1（4F）
- 講 師：川喜田 好恵（日本フェミニストカウンセラー協会代表理事）
川西 寿美子（大阪私立学校人権教育研究会）
三山 雅子（同志社大学院社会学研究科准教授）
加藤 治子（阪南中央病院・はるういずクリニック産婦人科医師、
性暴力救援センター・大阪（SACHICO）代表）
松尾 園子（山本・森・松尾法律事務所 弁護士）
加藤 伊都子（フェミニストカウンセリング堺カウンセラー）
藤田 光恵（ふじたみつえクリニック院長）
井上 摩耶子（ウイメンズカウンセリング京都代表）
- 定 員：50名程度 ※選考あり
- 受講料：全回 20,000円、各回 3,000円
（当財団個人賛助会員 10% 割引）
- 申込締切：2012年10月13日（土）必着
※理論コースを修了した方は研究コースを受講いただけます。

【研究コース】

- 日 時：①、②12/15（土）、1/12（土）、2/16（土）
10：30～13：00、14：00～16：30
- 場 所：①ドーンセンター 中会議室1（4F）
②ドーンセンター 中会議室2（4F）
- 講 師：①井上 摩耶子（ウイメンズカウンセリング京都代表）
②川喜田 好恵
（日本フェミニストカウンセラー協会代表理事）
- 対 象：①福祉・医療・シェルターなどケースの関わりを必要とする現場を持つ方
②女性センター、行政、教育機関などの公的な機関で相談の現場を持つ方
- ※各グループとも応募が8名以下の場合には不成立となります。

⑩ 教員向け

無料 先着

学校教員のための研修プログラム

大阪府で作成したデートDV防止のための生徒向けDV防止とその指導用引ききを用いて実際に模擬授業を体験し、自校で利用できる教材として持ち帰っていただくとともに、相談を受けた時の対応も学び合う、極めて実践的な研修です。

- 日 時：2012年8月24日（金） 13：00～17：00
- 場 所：ドーンセンター 特別会議室（5F）
- 講 師：中村 昌子（大阪府教育センター教育相談室主任指導主事）
- 対 象：大阪府内の小学校・中学校・高等学校・支援学校教員
- 定 員：各50名（先着順）
- 受講料：無料

講座・イベントのご案内

⑪ イコーラム事業

無料

男性講座 “オトコの孫育て” でみんな元気に!

～育児で気づく新しい世界・よりよい家族関係～

今こそ “イクジイ” たちの出番です。みんなを元気にする孫育てについて考えてみませんか? 育児を通して異なる価値観や多様な考え方を知れば、今後の生活がグンと豊かになります。

- 日 時: 2012年9月8日(土) 14:00～16:00
- 場 所: イコーラム第1・第2研修室
- 講 師: 中野 泰孝 ((一財)大阪府青少年活動財団 経営企画部長)
- 対 象: 東大阪市在住・在勤・在学の方
- 参加費: 無料
- 一時保育: あり (1歳半～就学前幼児) 定員10名
- 申込締切: 2012年9月1日(土)

⑫ イコーラム事業

無料

ちょこっとレクチャービデオな1日 「食堂かたつむり」

生きることは、食べること。おいしくてしょっぱい母と娘の物語。(2010/日本/119分/監督: 富永まい/出演: 柴咲コウ、余貴美子他)

- 日 時: 2012年10月2日(火) 10:00～12:00
14:00～16:00
- 場 所: イコーラム 第1・第2研修室
- 対 象: 東大阪市在住・在勤・在学の方 各回40名
- 参加費: 無料
- 一時保育: あり (1歳半～就学前幼児) 定員10名
- 申込締切: 当日先着順

⑪～⑭の講座・イベントに関するお問い合わせは

☎ 072-960-9201

東大阪市立男女共同参画センター・イコーラムまで

⑬ イコーラム事業

無料

一歩セミナー・シリーズⅢ

女子編・これから生き方を考えるあなたへ

私が私らしく、生き生きとすごしていくために・・・これからのこと、考えてみませんか?

- 日 時: 2012年10月13日(土)、20日(土)、27日(土)
いずれも14:00-16:00
- 場 所: イコーラム 第1・第2研修室
- 講 師: 伊藤 良子 (大阪府立大学地域保健学域看護学類助教)
乾 史弥 (大阪府立泉尾高等学校英語教諭)
堀田 美保 (近畿大学総合社会学部心理系専攻教授)
- 対 象: 東大阪在住・在勤・在学の女性 20名
- 参加費: 無料
- 一時保育: あり (1歳半～就学前幼児) 定員10名
- 申込締切: 2012年10月6日(土) 必着

⑭ イコーラム事業

無料

イコーラムカレッジ 現代社会を読み解く③

ひと・暮らし・まち ～人と人、人と地域の“つながり”を育む～

私たちの生活を豊かにしてくれる地域の“つながり”。地域には、女性や男性、さまざまな世代、さまざまな国籍・・・多様な暮らし、昔から今にいたる自然、歴史、文化、産物、祭事があります。“地域資源”を活かし、そこに暮らす多様な人々との“つながり”を育むまちづくりを大阪府内での事例から考えます。

- 日 時: 2012年10月28日(日) 10:00～12:00
- 場 所: イコーラム第1・第2研修室
- 講 師: 弘本 由香里
(大阪ガス(株)エネルギー・文化研究所 特任研究員)
- 対 象: 東大阪市在住・在勤・在学の方 20名
- 参加費: 無料
- 一時保育: あり (1歳半～就学前幼児) 定員10名
- 申込締切: 2012年10月21日(日) 必着

ピックアップ

内閣府 男女共同参画局 主催

平成24年度「配偶者からの暴力被害者支援のための

官官・官民連携促進ワークショップ」事業を受託しました。

当財団はこのたび内閣府主催の平成24年度「配偶者からの暴力被害者支援のための官官・官民連携促進ワークショップ」事業を入札により受託しました。

全国の配偶者暴力相談支援センターにおける配偶者からの暴力に関する相談件数は、支援センターの運用が開始された平成14年度から年々増加しています。こうした状況から、内閣府では、第3次男女共同参画基本計画におきまして、配偶者暴力防止法により設置の努力義務が規定されている市のセンターについて、平成27年までに100か所にするを成果目標としています。

当事業はこの目標達成のため、全国の支援センターや今後

支援センターの設置を検討している市町村において運営・管理に責任を持つ方、関連事業の企画・運営等を担当する行政担当者の方、また、支援センターの相談員や連携先である民間支援団体の相談員を対象としたワークショップを開催するものです。さらに、今後、全国各地で支援センターの設置を検討している市町村の参考にしていただくため、ヒアリング等により収集した先駆的な取組事例をまとめます。

当財団の女性に対する暴力に関する取り組みの実績やネットワークを駆使して、配偶者暴力被害者支援に繋がる円滑な事務局運営に務めていきたいと考えております。

賛助会員募集中！

当財団は1994年創立以来、ドーンセンターを拠点に、男女共同参画社会の実現をめざして大阪府からの受託をはじめ、財団自主事業を展開しています。例えば、働く女性のためのセミナー、男性のための講座、行政や学校教員を対象とした研修、職場における女性活躍推進等、企業で研修を企画される際の情報相談や資料の貸し出し、女性のメンタルヘルス支援事業などです。(詳しくはホームページ <http://www.ogef.jp/> をご参照ください。) 私たちとともに豊かな男女共同参画社会を築いていきませんか。

【賛助会費の使い道】

財団の自主事業(相談事業・人材育成・文化表現等)に充当させていただきます。

- ・定期刊行物の発行
- ・相談関係事業
- ・人材育成事業
- ・女性芸術劇場等の実施
- ・賛助会運営費用 etc.

【年会費】(4月から翌年3月までの年度制となります)

- ・個人 一口 3千円
- ・団体 企業等 一口 1万円
- 非営利団体 一口 5千円

【振込先】〈郵便振替口座〉00900-9-155214

口座名 一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団
 〈振込先口座〉りそな銀行 大手支店 普通 1632615
 口座名義 一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団

☆通信欄に『賛助会員 年会費(口数)』と、お名前、ご住所、電話番号、メールアドレス、お名前公表の可否をご記入ください。

平成23年度 賛助会費収支報告書 H.24.3.31 (単位:円)

賛助会費		口数	収入額		
個人会員	1口 3,000円 110人	157	471,000		
企業会員	1口10,000円 7企業	16	160,000		
非営利団体会員	1口 5,000円 28団体	31	155,000		
合計		204	786,000		
充当事業		回数	事業収入	支出額 (人件費含む)	賛助会費 個別充当額
充当事業	はなみずきキャリア塾「ポッドキャスト」	年間	0	700,000	200,000
	「フェミニストカウンセリング専門講座」		1,176,200	698,450	200,000
	「スーパービジョン講座」		81,000	218,186	200,000
	被災地支援事業「被災者サポートグループ」		0	273,659	186,000
事務局経費	ニュースレター(DAWN通信)他	4	0	319,674	0
合計			1,257,200	2,209,969	786,000
総 合 計			2,043,200	2,209,969	
収支差引額				-166,769	財団自主負担
次年度繰越金額					0

【会員の特典】

- ・財団が発行する定期刊行物の無料配布
 - ・財団指定の主催セミナー講習会等の参加費割引
 - ・財団主催の文化芸術事業(映画等)を賛助会員価格にてご案内
 - ・賛助会員交流懇談会等への無料招待
- (賛助会員の方は、財団ホームページにお名前を掲載いたします。ただし、ご希望により匿名も可能です。)

【賛助会員ご紹介】 ご入会・ご継続ありがとうございます。

【個人】

- | | | | |
|---------|--------|--------|--------|
| ・ 尼川 洋子 | 荒木 美子 | 池田 幸雄 | 石元 清英 |
| 伊田 久美子 | 伊藤 誠 | 馬越 かよ子 | 大畑 真由美 |
| 岡田 昌子 | 奥村 幸枝 | 尾後 裕子 | 梶川 富美子 |
| 川崎 佳代子 | 河田 英子 | 北山 博一 | 九門 リリ子 |
| 倉田 清 | 黒瀬 友佳子 | 伍賀 偕子 | 小林 和子 |
| 小牧 美江 | 小松 満貴子 | 三枝 泉 | 清水 由喜 |
| 正路 怜子 | 鈴木 直子 | 砂湖 和子 | 外川 恵 |
| 竹中 恵美子 | 田代 真朱子 | 田中 一好 | 田中 潤子 |
| 田中 良正 | 谷岡 文香 | 段林 和江 | 中崎 郁子 |
| 夏原 晃子 | 名取 千里 | 西辻 達也 | 服部 道代 |
| 肥田 和子 | 藤井 三樹生 | 本多 利子 | 米谷 優子 |
| 升間 晶子 | 松岡 一彦 | 溝上 久美子 | 溝手 伸子 |
| 溝手 真理 | 森 俊江 | 森谷 恭子 | 柳井 真智子 |
| 山川 静代 | 山中 紀代子 | 山本 隆夫 | 吉年 千寿子 |
- 他29名

【非営利団体】

- 1 女性会議大阪劇団シルバームーン
 - 特定非営利活動法人ハーティ
 - 特定非営利活動法人リトミック研究センター/大阪第一支局
 - 1 女性会議大阪
 - 働く女性の人権センター いこる
 - 大阪難聴児親の会(あゆみ会)
 - 柳寿会
 - 特定非営利活動法人大阪府中途失聴・難聴者協会
 - 高齢社会をよくする女性の会・大阪
 - カウンセリングニューやあやあ
 - 特定非営利活動法人生きがい大阪
 - オパールネットワーク大阪
 - グループみこし
 - 浪速勤亭流同好会
- 他4団体

【企業】

- 株式会社 宣成社
- 株式会社 三菱電機ビルテクノサービス
- 司法書士事務所 ともえみ
- 株式会社ゼロワン

他1社

以上、順不同、敬称略(2012年7月31日現在)
 ※2012年7月31日までに会費をご入金いただき、かつ掲載許可を
 いただいた方のみ掲載しております。

財団に関する最新情報は、ホームページでご案内して
 います。→ <http://www.ogef.jp>

ogef

編集・発行 一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団 ニュースレター編集部
 〒540-0008 大阪市中央区大手前1-3-49 ドーンセンター3F
 TEL: 06-6910-8615 FAX: 06-6910-8624
 E-mail: info@ogef.jp <http://www.ogef.jp/>

発行日:平成24(2012)年8月1日